

当初設計

2024年度

福山市 駅家 町 地内

勝負迫水路改良工事（6-1） 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=45. 6m	
	ブロック積工	L=45. 6m (A=122m2)	
	仮設工	1式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、勝負迫水路改良工事（6-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第6節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：工事用道路工

第3節 購入土（搬入）（新材料）

- ・本工事では土砂購入を見込んでいる。
- ・新材料の購入土砂を見込んでいるが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第4節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

「第20 回世界バラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20 回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
 - ・「第20 回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
 - ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
 - ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
 - ・ロゴ標示期限は2026年（令和8 年）3月31日とする。
- （デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

第3節 福山市週休2日モデル工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日モデル工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う週休2日モデル工事である。なお、このモデル工事の取組を希望しない受注者は、4～16に規定する義務を負わない。
- 2 このモデル工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、4週8休（28分の8の日数をいう。）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所（現場休息）では4週8休に満たない月は、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所（現場休息）を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。
 - (2) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所率が4週8休以上の水準の状態をいう。
 - (3) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (4) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (5) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から本体工事又は仮設工事の着手までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 3 受注者は、契約締結後速やかに週休2日モデル工事の実施希望の有無等を記載した所定の確認票を建設政策課契約担当に提出するものとする。
- 4 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合は、契約締結後速やかに工事打合せ簿により監督員へ申出を行い、工事着手までに所定の現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所（現場休息）する場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日モデル工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により仮囲い等に明示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所（現場休息）状況を記入し、現場閉所（現場休息）状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日まで及び工事完成後に、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日モデル工事を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

10 週休2日モデル工事において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、変更契約において現場閉所（現場休息）の実績に応じた経費の補正を行うものとする。

11 土木工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を月単位で達成した場合に限り、経費の補正を行うものとする。

(1) 月単位の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.04
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.03（港湾工事を除く。）
エ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
オ 現場管理費	1.05（港湾工事を除く。）
カ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

(2) 通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.03

12 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

13 農林工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価及び標準単価の補正係数を用いるものとする。

(1) 土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.05

(2) 治山林道必携適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.05
イ 機械経費（賃料）	1.04
ウ 共通仮設費	1.04
エ 現場管理費	1.06

14 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、

電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

- 15 4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

- 16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
鉄筋工		1.02	1.04
ガス圧接工		1.02	1.03
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.04
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.01
	撤去・移設	1.02	1.03
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
法面工		1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.02	1.04
	剪定	1.02	1.04
公園植栽工		1.02	1.04
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.04
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.02
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
砂基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
組立マンホール設置工		1.02	1.03
小型マンホール工		1.00	1.01
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.01
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 4週8休以上
底面工	1.03
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.04
足場工	1.02
鉄筋工	1.04
吊鉄筋工	1.04
型枠工	1.03
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.04
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.04
止水板工	1.04
上蓋工	1.04
伸縮目地工	1.02
係船柱取付	1.04
防舷材取付	1.04
車止・縁金物取付	1.04
係船柱撤去	1.04
防舷材撤去	1.04
車止撤去	1.04
電気防食取付	1.04
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.04
防砂目地板取付工（水中施工）	1.03
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.03
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.03
ペトロラタム被覆	1.04
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.04
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.04
かき落とし工	1.04
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.03
汚濁防止枠設置・撤去	1.02
灯浮標設置・撤去	1.03
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.04
異形ブロック製作型枠工	1.04
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.04
異形ブロック製作給熱養生	1.03

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02
	撤去	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00
	撤去	1.02
道路標識設置工	設置	1.00
	撤去・移設	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01
	撤去	1.02
法面工		1.01
吹付砕工		1.01
軟弱地盤処理工		1.01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02
橋面防水工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.05
鉄筋工（ガス圧接）		1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04
	撤去	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.03
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01
	撤去	1.05
道路標識設置工	設置	1.01
	撤去・移設	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
	撤去	1.05
法面工		1.02
吹付砕工		1.03
軟弱地盤処理工		1.02
鉄筋挿入工（ロックボルト）		1.03

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		通期 4 週 8 休以上	月単位 4 週 8 休以上
区画線工		1.02	1.04
高視認性区画線工		1.02	1.04
橋梁塗装工		1.01	1.03
構造物とりこわし工	機械	1.02	1.03
	人力	1.02	1.04
排水構造物工		1.02	1.04

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.02
排水構造物工		1.02
コンクリートブロック積工		1.02
構造物とりこわし工	機械	1.02
	人力	1.02
鋼橋塗装工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.05
排水構造物工		1.05
コンクリートブロック積工		1.05
構造物とりこわし工	機械	1.04
	人力	1.05

① 土木工事及び農林工事

ご協力をお願いします	
週休2日モデル工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

② 建築工事

**週休2日
モデル工事**

(A3サイズ以上)

③ 共通

週休2日モデル工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-06.07.01(0)		
諸経費体系	9 公共(011015～)		
	当世代		前世代
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 I C T補正区分	06 水路工事 01 千円未満切捨 00 補正なし 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
水路工事										レベル 1	
		1			式						
土工										レベル 2	
		1			式						
盛土工										レベル 3	
		1			式						
購入土盛土										レベル 4	
					m3						
	振動ローラ締固め 1.0m≦W<2.5m 路体・築堤									00	
		110			m3					単第 0 -0001号表	
	土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離9.0km以下(7.0km超)									00	
		80			m3					単第 0 -0003号表	
	購入土砂 (地山)									00	
		80			m3						
擁壁工										レベル 2	
		1			式						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
作業土工										レベル 3	
		1			式						
床堀					m3					レベル 4	
床掘り 土砂 上記以外(小規模)		60			m3					00	
埋戻					m3					単第 0 -0004号表 レベル 4	
機械併用埋戻(小規模土工)		20			m3					00	
コンクリートブロック工										単第 0 -0005号表 レベル 3	
コンクリートブロック基礎		1			式					レベル 4	
					m						
ブロック基礎工 A 3 0 0－B 5 5 0（盛土用）		44			m					00	
コンクリートブロック積み					m2					単第 0 -0008号表 レベル 4	

本工事費

内訳表

頁0 -0004

[illegible]

本工事費

内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費							
共通仮設費率 分額							
共通仮設費計							
純工事費							
現場管理費							
工事原価							
一般管理費率 分							
契約保証費							
一般管理費計							

本工事費

内訳表

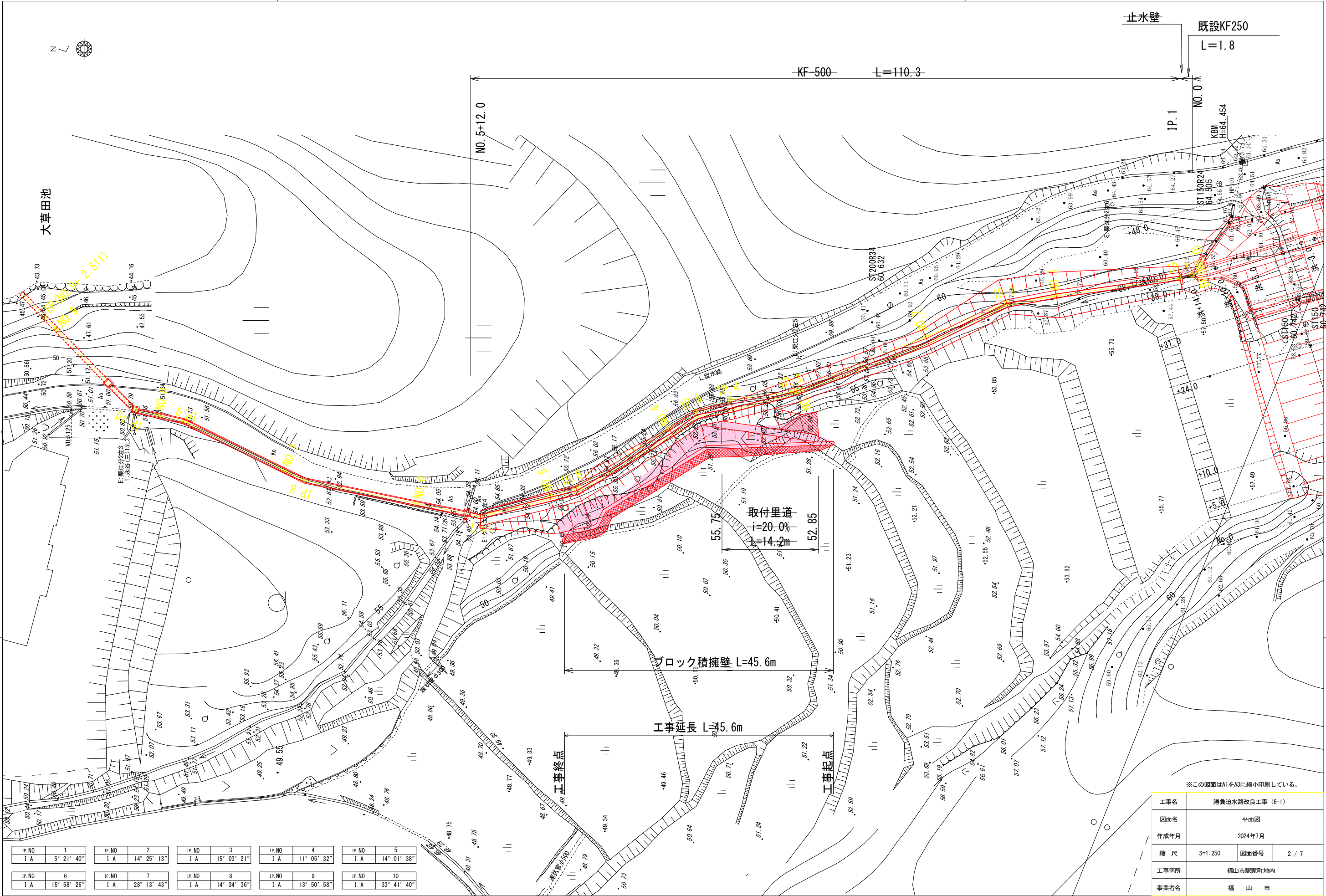
頁0 -0006

[illegible]



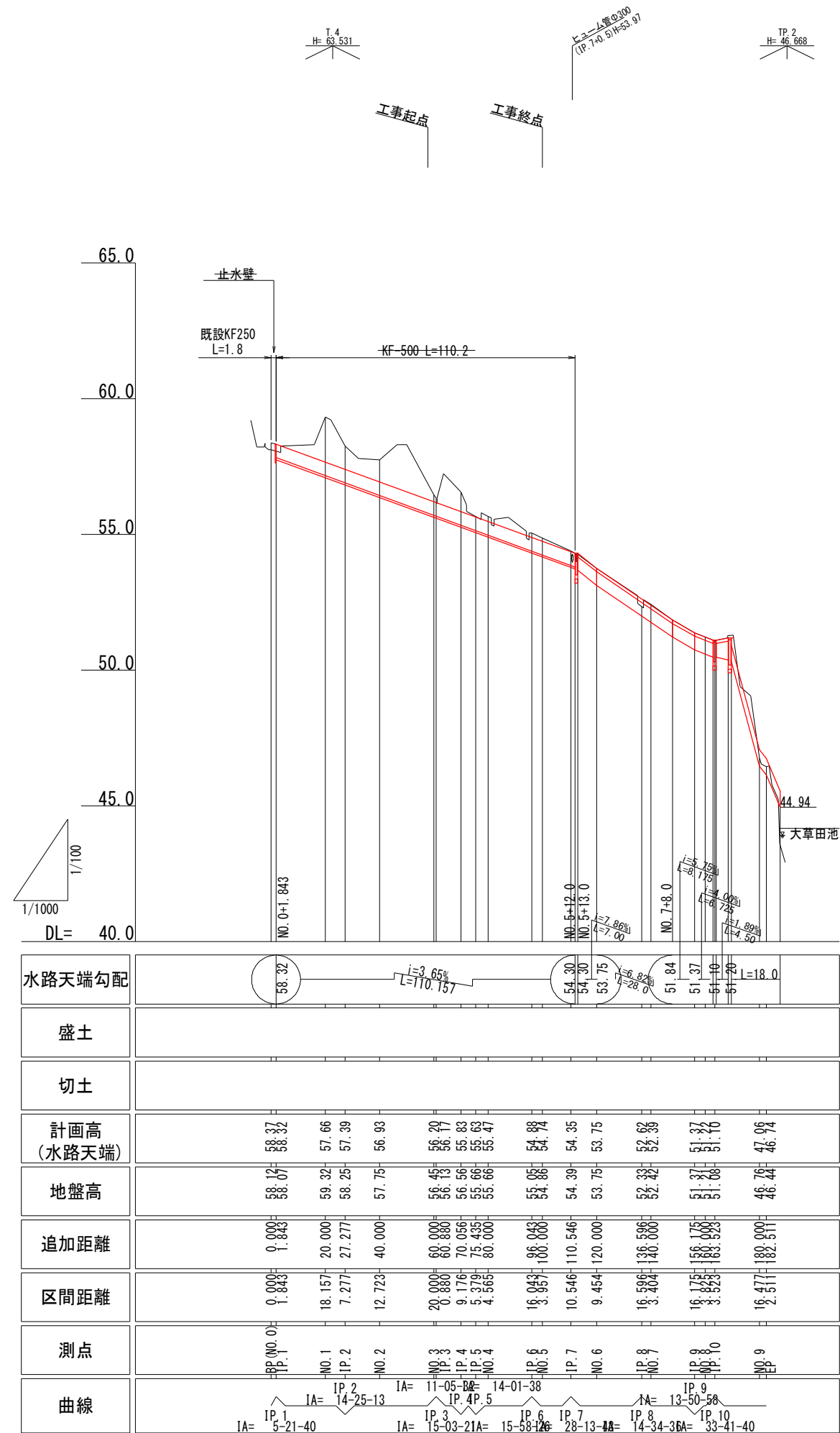
工事施工箇所

図面番号	1 / 7	縮尺	S=1:10000
工事名	勝負迫水路改良工事 (6-1)		
種別	位置図	番号	1 / 1
路線河川名	勝負迫水路		
工事箇所	福山市駅家町地内		
	福山市		



工事名	勝負迫水路改良工事 (6-1)		
図面名	平面図		
作成年月	2024年7月		
縮 尺	S=1:250	図面番号	2 / 7
工事箇所	福山市駅家町地内		
事業者名	福 山 市		

※この図面はA1をA3に縮小印刷している。

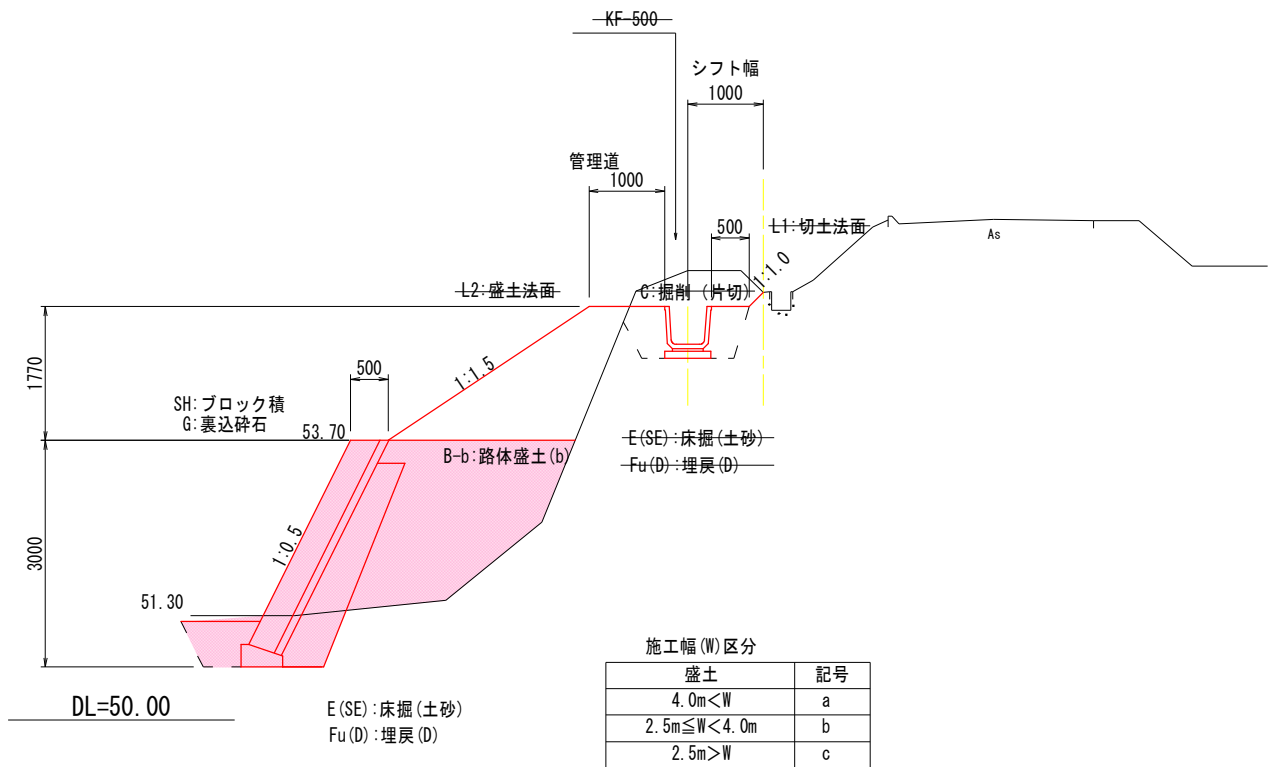


※この図面はA1をA3に縮小印刷している。

工事名	勝負迫水路改良工事 (6-1)		
図面名	縦断面図		
作成年月	2024年7月		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 7
工事箇所	福山市駅家町地内		
事業者名	福 山 市		

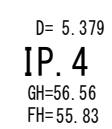
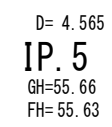
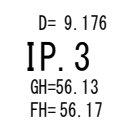
標準断面図

S=1:50



※この図面はA1をA3に縮小印刷している。

工事名	勝負迫水路改良工事 (6-1)		
図面名	標準横断面図		
作成年月	2024年7月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 7
工事箇所	福山市駅家町地内		
事業者名	福山市		

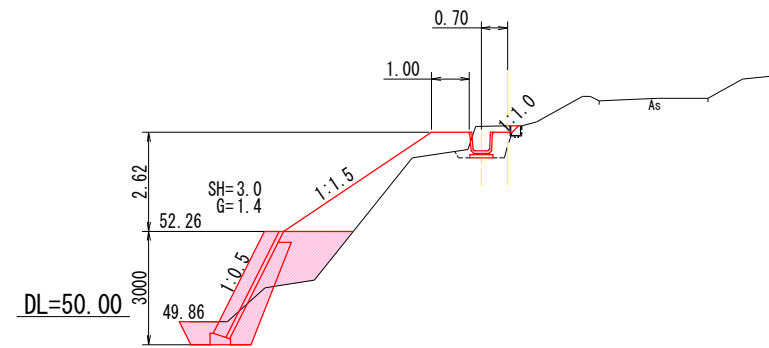


工事名	勝負迫水路改良工事（6-1）		
図面名	横断面図(1)		
作成年月	2024年7月		
縮 尺	S=1:100	図面番号	5 / 7
工事箇所	福山市駅家町地内		
事業者名	福 山 市		

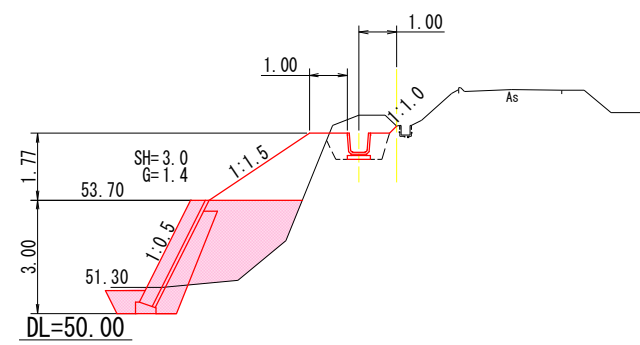
工事終点

$$\frac{L=5.2}{B-b}$$

D= 3.957
IP. 6
GH=55.05
FH=54.88

$$\xrightarrow{L=5.0} E(SE), F_u(D) = \text{同}$$

$$\begin{aligned} E(SE) &= 1.6 \\ Fu(D) &= 0.5 \end{aligned}$$
$$B-b=1.8$$
$$\overleftrightarrow{L=18.2} \\ E(SE), F_u(D)$$
$$\overleftrightarrow{B-b} \quad L=17.8$$

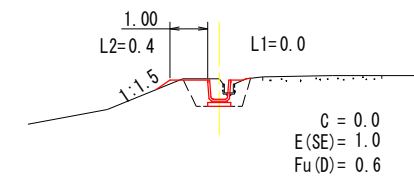
D=16.043
NO. 4
GH=55.66
FH=55.47


$$\begin{aligned} E(SE) &= 1.2 \\ Fu(D) &= 0.5 \end{aligned}$$
$$B-b=4.3$$

D= 9.454
IP. 7
GH=54.39
FH=54.35

G1-B700-L700-H800

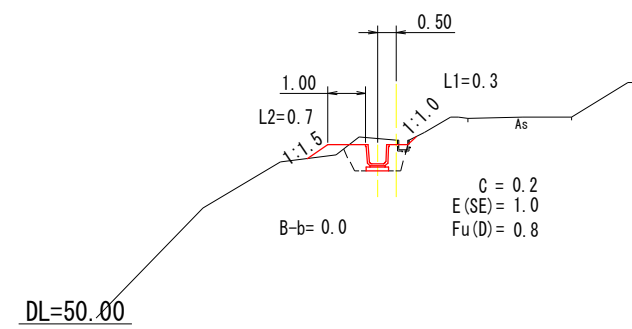
$L=1.5$
 $\xrightarrow{\quad}$
 $E(SE), Fu(D)=同$
 KF-500
 KF-250取壊

$$\frac{L=0.4}{12}$$


C = 0.0
E (SE) = 1.0
Fu (D) = 0.6

DL=50.00

D=10.546
NO. 5
GH=54.86
FH=54.74



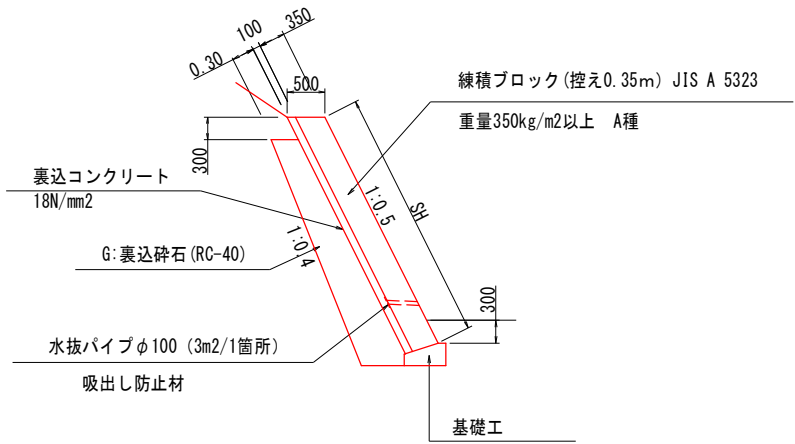
C = 0.2
E (SE) = 1.0
Fu(D) = 0.8

DL=50.00

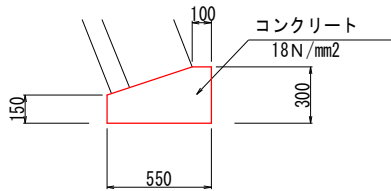
※この図面はA1をA3に縮小印刷している。

工事名	勝負迫水路改良工事 (6-1)		
図面名	横断面図 (2)		
作成年月	2024年7月		
縮 尺	S=1:100	図面番号	6 / 7
工事箇所	福山市駅家町地内		
事業者名	福 山 市		

ブロック積 S=1:50

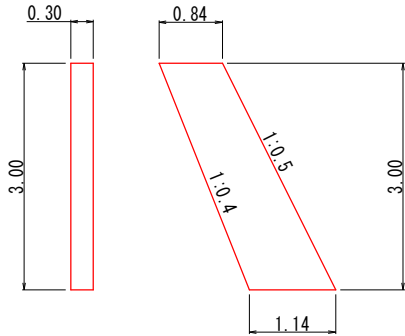


基礎工 S=1:20



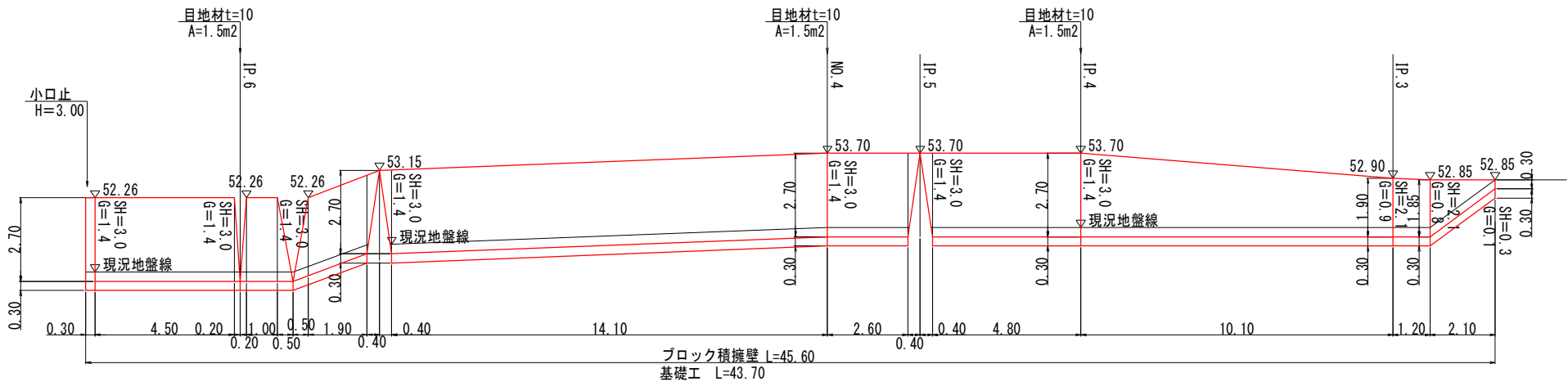
基礎工数量表		10m当り	
種 別	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N/mm2	m3	1.31
型 枠	小型	m2	4.50
基面整正	土砂	m2	5.50

小口止 S=1:50



小口止数量表		1箇所当り	
種 別	規 格	単 位	数 量
コンクリート	18N/mm2	m3	0.89
型 枠	小型	m2	3.98
基面整正	土砂	m2	0.3

ブロック積擁壁展開図 S=1:100



※この図面はA1をA3に縮小印刷している。

工事名	勝負迫水路改良工事 (6-1)		
図面名	構造図		
作成年月	2024年7月		
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 7
工事箇所	福山市駅家町地内		
事業者名	福 山 市		

以下参考図書

振動ローラ締固め

$$1.0\text{m} \leq W < 2.5\text{m}$$

路体・築堤

单第 0 -0001号表

頁0 -0001

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0002

機-28_振動ローラ運転（賃料）

搭乗式コンバインド型 3.0~4.0t

单第 0 -0002号表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0003

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 25.13% 労務構成比: 61.92% 材料構成比: 12.95% 市場単価構成比: 0.00%

SPK23040002
DID区間有り 距離9.0km以下(7.0km超)

単第 0 -0003号表
標準単価: 1 m3 2,726.7000 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=37 距離9.0km以下(7.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 20.81% 労務構成比: 71.39% 材料構成比: 7.80% 市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0004号表

1
標準単価: m3 当り
2,046.8000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

機械併用埋戻(小規模土工)

施工単価表

单第 0 -0005号表

頁0 -0005

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入(バックホウ)
土砂
機械構成比: 28.44% 労務構成比: 59.55% 材料構成比: 12.01% 市場単価構成比: 0.00%
SPK23040007 小規模(標準) 単第 0 -0006号表 1 m3 当り
標準単価: 1,011.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

单第 0 -0007号表

頁0 -0007

10

m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

ブロック基礎工

A 3 0 0 - B 5 5 0 (盛土用)

单第 0 -0008号表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

コンクリート
小型構造物 18-8-40BB
機械構成比: 0.00%

SPK23040154
人力打設
労務構成比: 44.86%

材料構成比: 55.14%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0009号表
標準単価: 1
m3 当り
29,616.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.14%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

頁0 -0010

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK23040156

単第 0 -0010号表

小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 8,042.9000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施 工 単 価 表

頁0 -0011

コンクリートブロック積工(練積)
滑面ブロック

18-8-40BB

単第 0 -0011号表

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	1.000	m2			
時間的制約なし					
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.112	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.112	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=2 小型車割増有 H=0.1 裏込コンクリートの厚さ(m) K=8.5 ブロックm2当り使用量(個/m2)		
I=1 滑面ブロック L=1 時間的制約なし					

施工単価表

頁0 -0012

裏込碎石
RC-40

SPK23040035

単第 0 -0012号表

1
m3 当り

機械構成比: 4.60%

労務構成比: 66.47%

材料構成比: 28.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 6,007.8000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.58%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	32.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.62%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	11.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40～0mm	23.96%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0013

裏込碎石

SPK23040035

单第 0 -0012号表

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 4.60%

勞務構成比: 66.47%

材料構成比: 28.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

6,007.8000

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0013号表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

コンクリート

SPK23040154

単第 0 -0014号表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.19%

労務構成比:

40.17%

材料構成比: 55.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

30,518.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.96%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	53.56%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0016

コンクリート

SPK23040154

单第 0 -0014号表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.19%

勞務構成比：

40.17%

材料構成比: 55.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

30,518.0000

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0015号表

頁0 -0017

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

路体(築堤)盛土・埋戻
施工幅員2.5m以上4.0m未満
機械構成比: 16.95%

SPKN2304004

単第 0 -0016号表

1
標準単価: m3 当り
774.1500

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.87%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	8.08%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	65.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.16%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施 工 単 価 表

頁0 -0019

砂利舗装工
敷均し幅2.5m以上

単第 0 -0017号表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.20	人			
普通作業員	0.62	人			
再生クラッシャラン 40～0mm	11.60	m3			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	2.50	時間			単第 0-0018号表
諸雑費	1	式			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=3 敷均し幅2.5m以上 C=1 敷均し E=3 再生クラッシャラン RC-40 G=2 舗設材単価0円区分：なし			B=3 バックホウ敷均し D=1 舗装面仕上げ無し F=10 敷砂利仕上がり厚さ(cm) H=0 敷材単価(円)(G=2の時)		

施工単価表

頁0 -0020

機-1_バックホウ運転

クロール[標準]山積0.28m³ (平積0.2m³)

排出ガス対策型2次基準

单第 0 -0018号表

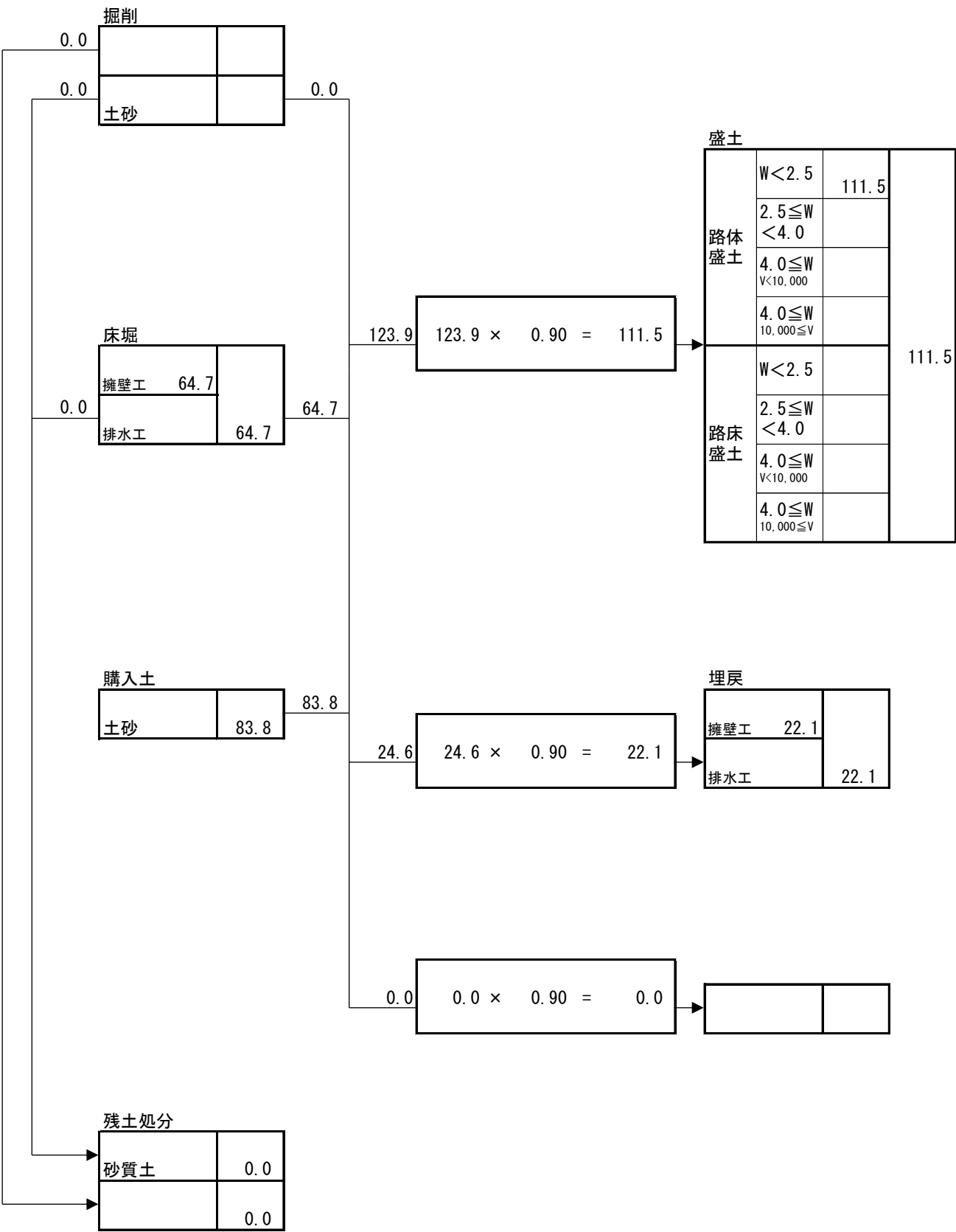
1

時間 当り

[illegible]

[illegible]

土 量 配 分 表



[illegible]

[illegible]

計第 2表		ブロック積工 作業土工				計 算 書			
測 点	床掘				埋戻(D)				摘 要
	距 離	断 面 積	平 均	立 積	距 離	断 面 積	平 均	立 積	
NO.0									
IP.1									
NO.1	18.2				18.2				
IP.2	7.3				7.3				
NO.2	12.7				12.7				
IP.3	20.9				20.9				
IP.4	9.2				9.2				
IP.5	5.4				5.4				
NO.4	4.6				4.6				
IP.6	16.0				16.0				
NO.5	4.0				4.0				
IP.7	10.5				10.5				
	1.5				1.5				
NO.6	7.0				7.0				
IP.8	16.6				16.6				
NO.7	3.4				3.4				
IP.9	16.2				16.2				
NO.8	3.8				3.8				
	2.9				2.9				
IP.10									
NO.9									
E.P									
ブロック積									
		1.1				0.5			
IP.3	3.3	1.1	1.10	3.6	3.3	0.5	0.50	1.7	
IP.4	10.1	2.2	1.65	16.7	10.1	0.5	0.50	5.1	
IP.5	4.8	1.1	1.65	7.9	4.8	0.5	0.50	2.4	
NO.4	2.6	1.2	1.15	3.0	2.6	0.5	0.50	1.3	
IP.6	18.2	1.6	1.40	25.5	18.2	0.5	0.50	9.1	
	5.0	1.6	1.60	8.0	5.0	0.5	0.50	2.5	
計	204.2			64.7				22.1	

[illegible]

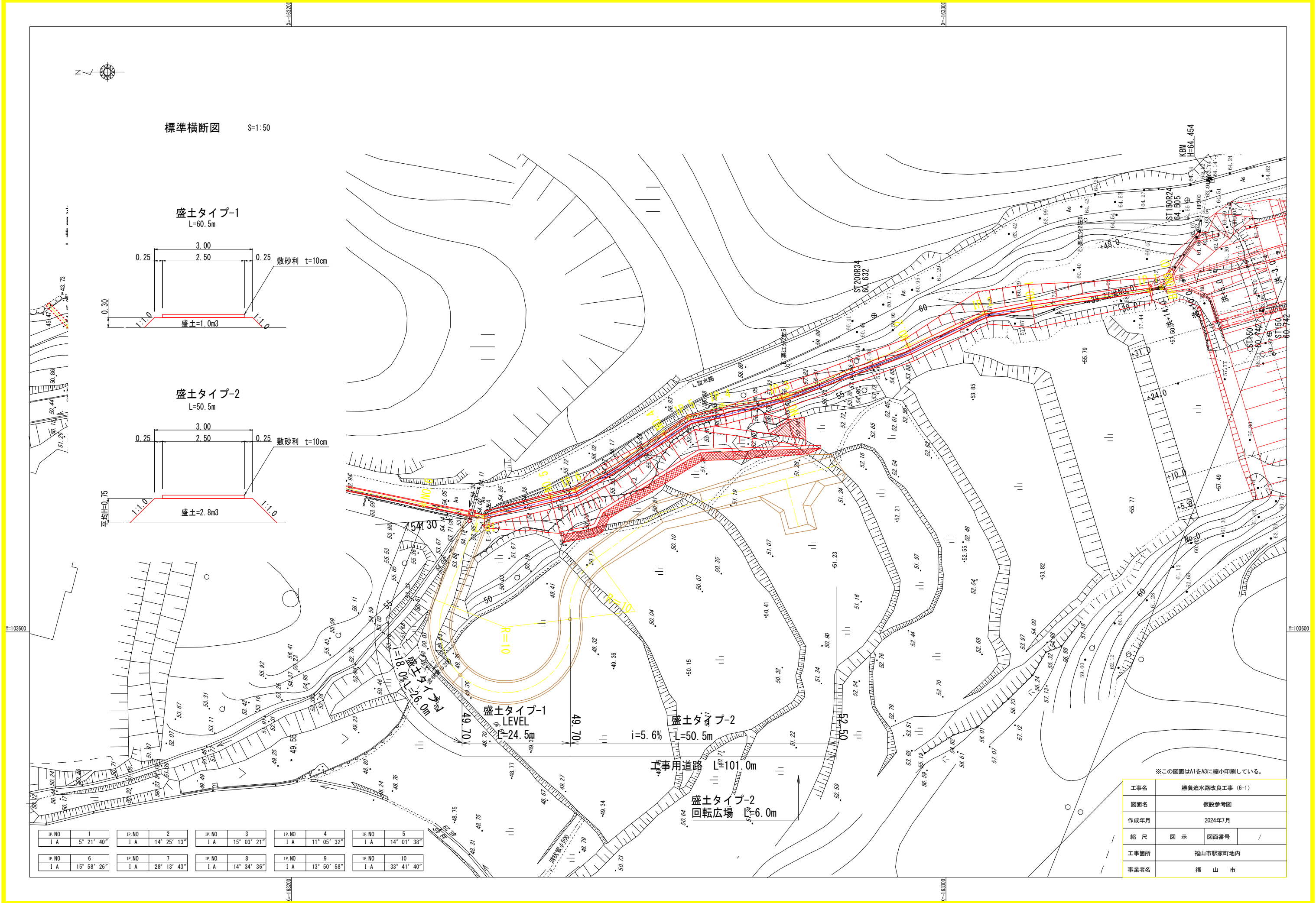
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

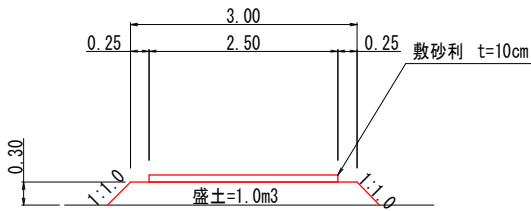
[illegible]



標準横断面 S=1:50

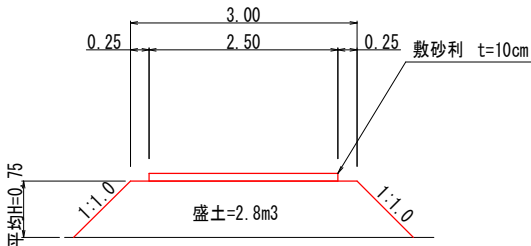
盛土タイプ-1

L=60.5m



盛土タイプ-2

L=50.5m



盛土タイプ-1

LEVEL

L=24.5m

盛土タイプ-2

L=50.5m

工事用道路

L=101.0m

盛土タイプ-2

回転広場

L=6.0m

※この図面はA1をA3に縮小印刷している。

工事名	勝負迫水路改良工事 (6-1)		
図面名	仮設参考図		
作成年月	2024年7月		
縮尺	図示	図面番号	/
工事箇所	福山市駅家町地内		
事業者名	福山市		

IP.NO	1	IP.NO	2	IP.NO	3	IP.NO	4	IP.NO	5
I.A	5° 21' 40"	I.A	14° 25' 13"	I.A	15° 03' 21"	I.A	11° 05' 32"	I.A	14° 01' 38"
IP.NO	6	IP.NO	7	IP.NO	8	IP.NO	9	IP.NO	10
I.A	15° 58' 26"	I.A	28° 13' 43"	I.A	14° 34' 36"	I.A	13° 50' 58"	I.A	33° 41' 40"